

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

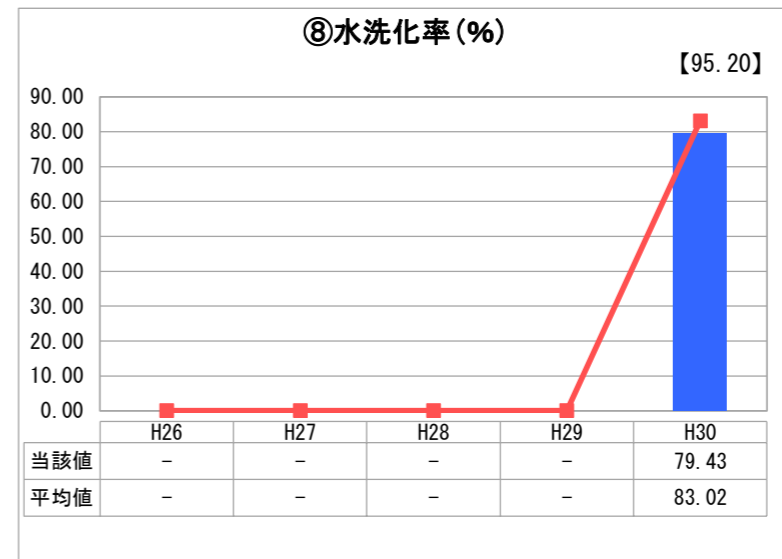
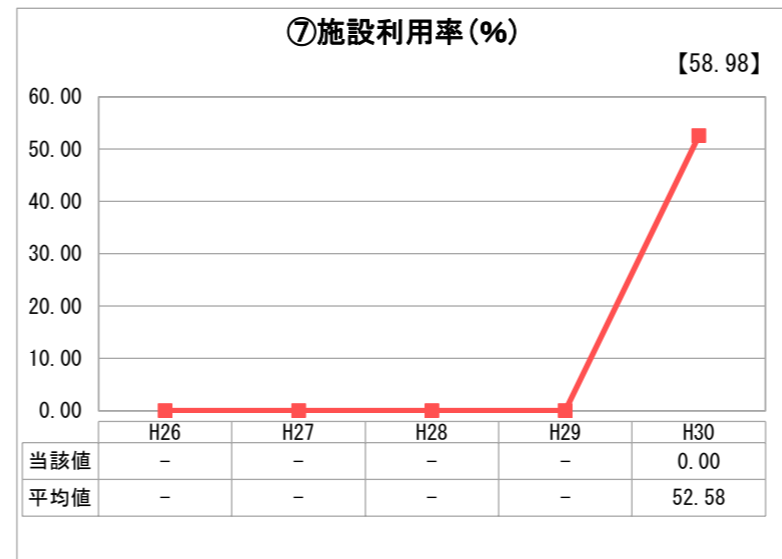
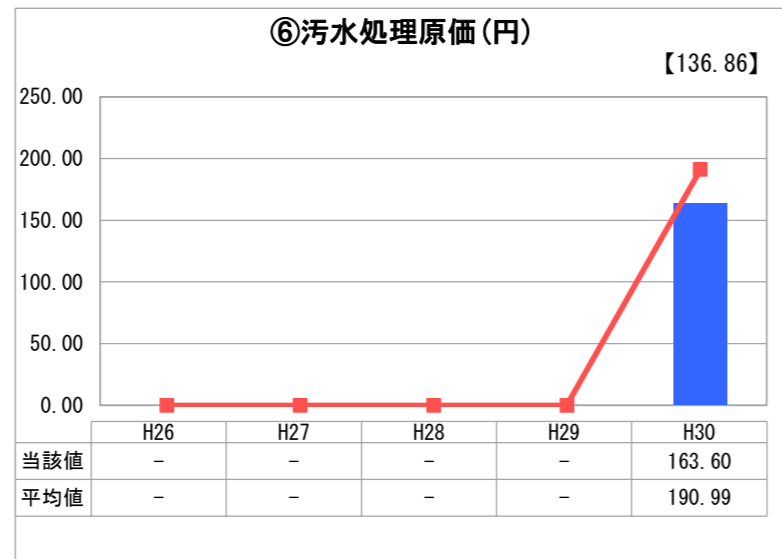
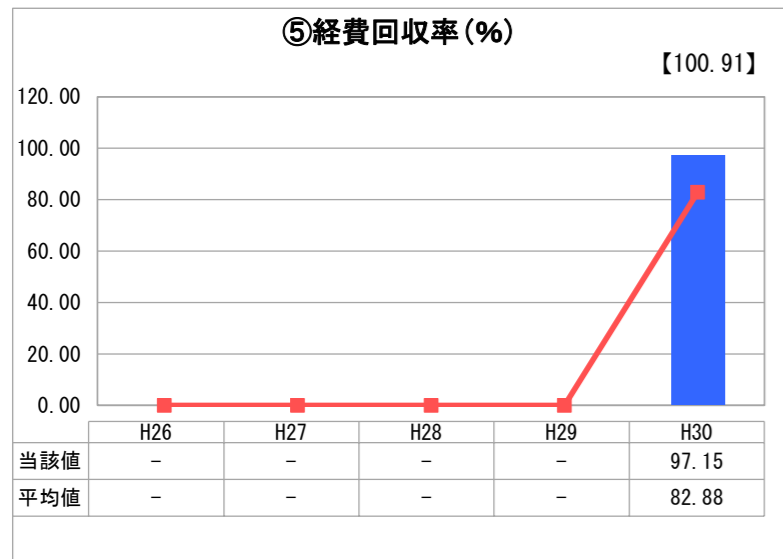
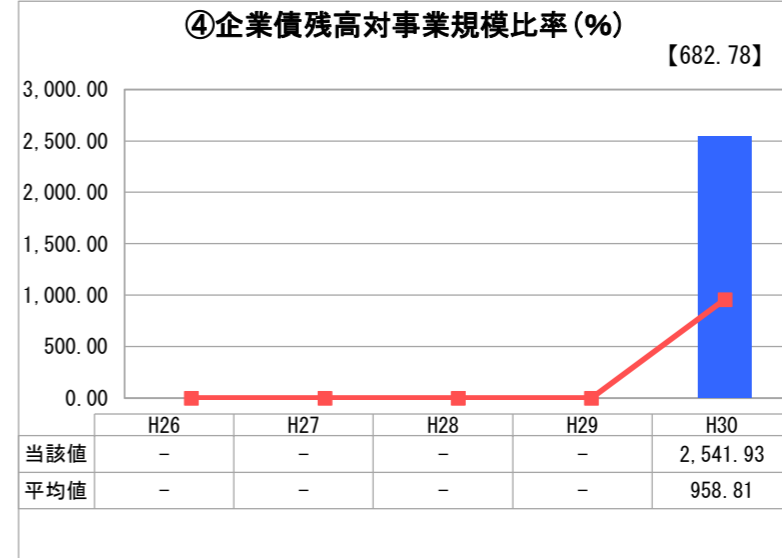
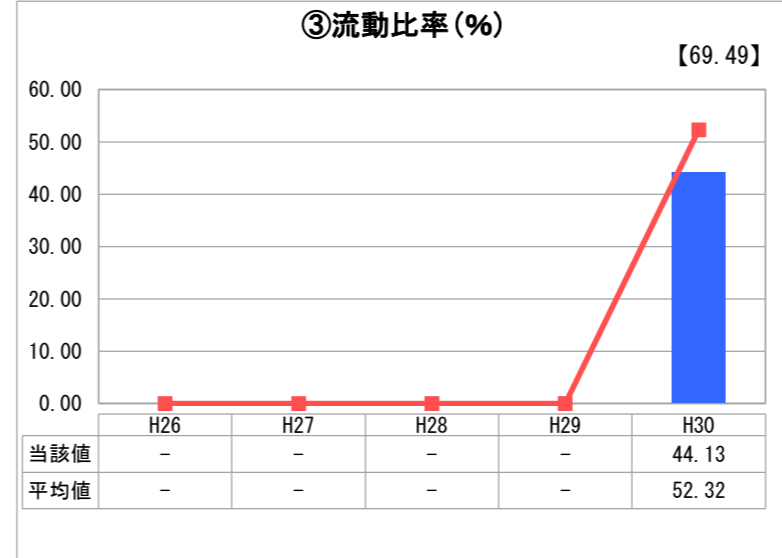
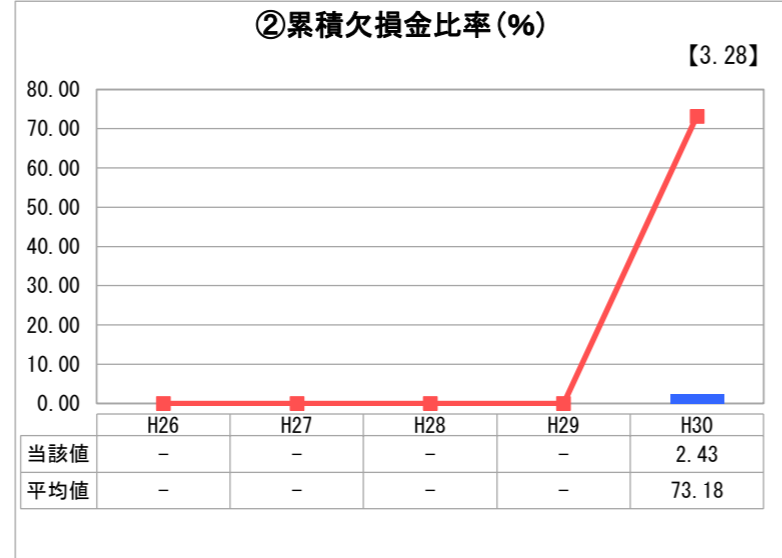
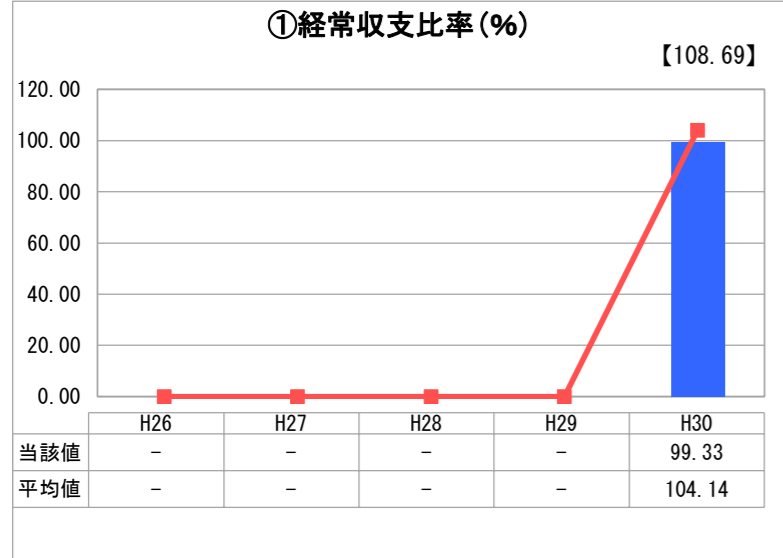
兵庫県 洲本市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	41.06	23.67	82.51	2,484

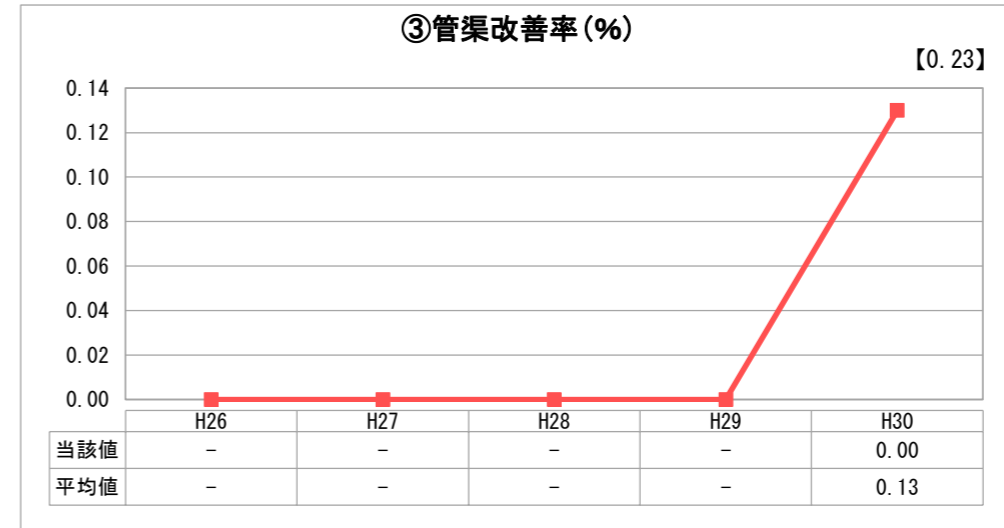
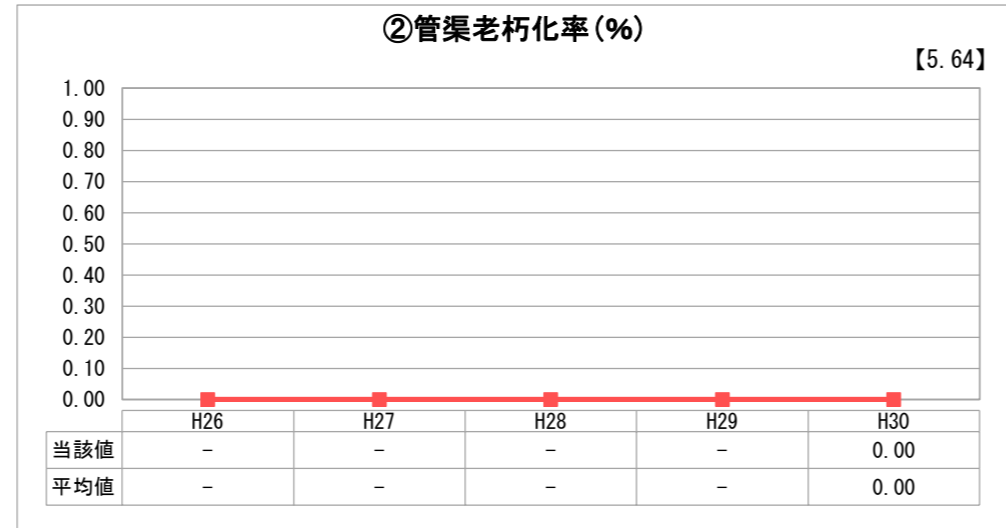
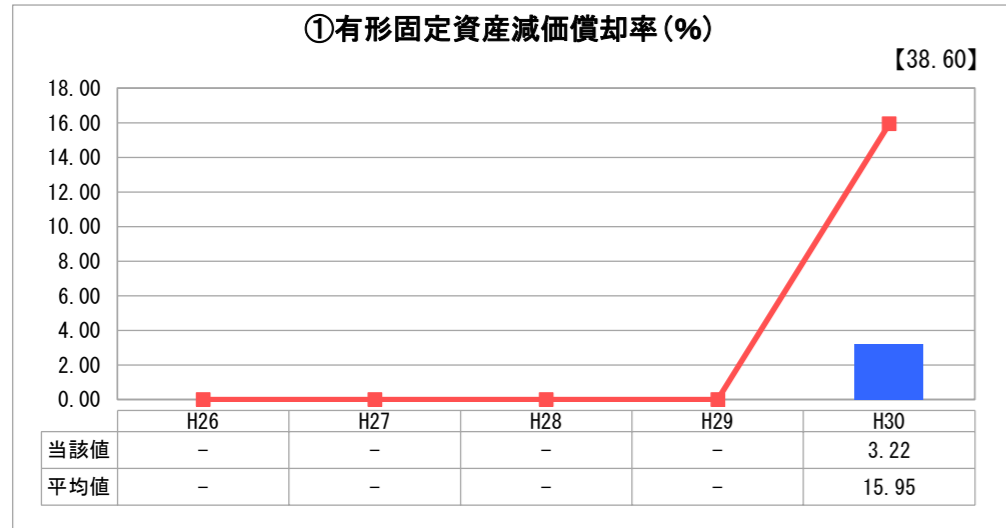
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,034	182.38	241.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,332	2.95	3,502.37

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

公共下水道事業は平成30年度から地方公営企業法を適用（財務適用）しています。そのため、平成29年度以前の数値はすべて「-」と表示されています。

① 経常収支比率は「99.33%」です。今後もほぼ横ばいとなる見込みであり、100%以上となるよう、更に経費削減、使用料回収に努めます。

② 累積欠損金比率は「2.43%」です。地方公営企業法を適用した平成30年度決算から初めて算出される比率であり、累積がないため、類似団体平均を大きく下回っていると考えられます。

③ 流動比率は「44.13%」です。公共下水道事業は概成に向けて投資を行っている途中であり、企業債の元金償還が多額であるため、平均を下回っていると考えられます。

④ 企業債残高対事業規模比率は「2,541.93%」です。概成に向け、新規の投資を行っている途中であり、毎年企業債の借入を行っているためです。ただし、企業債の借入は元金償還額以下に抑制しているため、今後は少しずつ減少する見込みです。

⑤ 経費回収率は「97.15%」です。類似団体平均を上回っていますが、100%を下回っているため、更に経費削減及び使用料回収に努めます。

⑥ 汚水処理原価は「163.60円」です。類似団体平均を下回っているものの、全国平均を上回っています。今後は計画的・効率的な投資と接続率の向上により、更に改善されるよう努めます。

⑦ 施設利用率は「48.23%」です。類似団体平均を下回っているため、今後は計画的・効率的な投資と接続率の向上により、更に改善されるよう努めます。

⑧ 水洗化率は「79.43%」です。類似団体平均を若干下回っているため、水洗化率向上に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

本市の公共下水道事業は平成5年から供用を開始しているため、減価償却率は類似団体平均を下回っています。管渠についても法定耐用年数を超えるものもなく、軽微な修繕で済んでいます。

処理場等の施設に関しては、長寿命化工事等で計画的に大規模改修を行い、修繕費用の平準化及び低コスト化に努めています。

## 全体総括

本市の公共下水道事業は概成に向け、投資を行っている途中です。国庫補助金を活用し、効率的・計画的な投資を行い、適正な使用料を確保することで、生活排水処理率の向上と健全な下水道事業経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。